

電波有効利用成長戦略懇談会成長戦略WG（第7回）議事要旨

1. 日時

平成30年4月26日（木）13：30～14：45

2. 場所

中央合同庁舎第2号館（総務省） 8階 第1特別会議室

3. 出席者（敬称略）

構成員等：

東博暢（株式会社日本総合研究所）、飯塚留美（一般財団法人マルチメディア振興センター電波利用調査部研究主幹）、岩浪剛太（株式会社インフォシティ）、柴藤稔（大阪大学）、寺田麻佑（国際基督教大学）、藤原洋（株式会社ブロードバンドタワー代表取締役会長兼社長 CEO）、森川博之（東京大学大学院工学系研究科教授）

村井純（慶應義塾大学大学院）：「IoT新時代の未来づくり検討委員会」主査

総務省：

坂井総務副大臣、小林総務大臣政務官、鈴木総務審議官、武田総括審議官、渡辺総合通信基盤局長、椿国際戦略局参事官、竹内電波部長、小笠原総合通信基盤局総務課長、今川情報通信政策課長、野崎電波政策課長、高地基幹・衛星移動通信課長

4. 配布資料

資料 成長WG 7-1 成長戦略WG 中間とりまとめ(案)について

資料 成長WG 7-2 ワイヤレスの進展等による経済・社会的効果

参考資料 1 成長戦略WG ヒアリング発表資料等

参考資料 2 「未来をつかむTECH戦略」2018年4月17日

I o T新時代の未来づくり検討委員会 中間とりまとめ

5. 議事要旨

(1) 開会

(2) 議事

資料成長WG 7-1 「成長戦略WG中間取りまとめ」(案)について事務局から説明が行われた。

(森川主査)

構成員からの意見を幅広く漏れがない形でまとまってきたが、欠けている点やお気づきの点等をお知らせいただきたい。

5ページ目の政策パッケージを更にブレイクダウンする時に、多くの方々の知見を集められるような場があると良い。

資料成長WG 7-2 「ワイヤレスの進展等による経済・社会的効果」について三菱総合研究所の伊藤陽介氏から説明が行われた。

(村井構成員)

40年近くインターネットの構築に関わってきているが、40年前に全く予測できなかったことを挙げるとすると、これだけ無線になるとは思わなかったということであり、ワイヤレスはそれだけ大変大きなインパクトがある。

また、地域と人を考える時に大変重要なことはサイバーセキュリティ。今まではビッグデータを分析することで新しいマーケティングができるなど、インターネットのバリューが出ていたが、そもそもこのデータは本物なのか偽物なのかということが大変重要な鍵になってくる。

これからのサイバーセキュリティで大事なものは、デバイス一つ一つがある認証のフレームワークを持っているか、証明書をきちんと利用できているのか、そのアクセス権のオーソライゼーションができるのか、そういう取り決めになってくると思う。ワイヤレスのインフラストラクチャーの中でも、信頼性のあるデータ社会に対してどうやって貢献ができるのかという考え方、つまり信じられるデータであること、信じられるデバイスであること、信じられる無線の使い方、こういったことがきちんと使われていくということは各分

野に大事なのではないか。

インターネットの標準化、セキュリティを含めたプロトコルエンドポイントや映像技術の配信についてはエンコーディングの技術とエンドポイントの扱いなど、標準化の際に、プレーヤーが多様になる。我が国の品質、性能、安全性に対する良い意味で非常にセンシティブなこの国の文化的な背景も含めて、グローバルな標準化、オープンな標準化を進めていくことが、日本の技術標準戦略として重要になると思う。そのため、このワイヤレスの成長戦略の中でも考えられるべきではないかと思う。

(寺田構成員)

5ページは全て盛り込んであるが、やや抽象的な部分が多い。例えば人材育成はすごく大事だが、こういった政策実現には資金が必要なので、人材育成に必要な予算を獲得するための方策のようなものがどこかに見えると良い。また、研究開発課題等への対応は大事だが、基礎的挑戦的という言葉は抽象度が高いので、例えば、基礎的挑戦的な部分の言葉をもう少し具体的にするとか、具体的にこういうことを考えて人材育成をするなどにすればより良くなるのではないかと思う。

(飯塚構成員)

三菱総研資料の2ページ目において、情報通信産業が様々な分野にインフラとして浸み込んでいくという説明を踏まえると、中間とりまとめ案の1ページ目真ん中にある表現について、既存の伝統的なインフラの方にワイヤレスがどんどん実装されていくというニュアンスの方が良いと感じた。また、取りまとめの5ページ目の一番左に電波モニタリングや動的割当てとあるが、周波数共用をキーワードとして出しても良いと感じた。

(岩浪構成員)

ワイヤレスが社会基盤になっていくという考え方をアピールする必要があるため、本人認証基盤の話はどこかに書いておいて欲しい。

(高地基幹・衛星移動通信課長)

現在の資料では2ページ目にマイナンバー認証を備えたウェアラブル決済等による店舗無人化に関することを書いている。

(岩浪構成員)

ワイヤレス決済は一アプリケーションであるとも言えるため、本人認証については基盤の方にも書いて頂けると良いと思う。

(藤原構成員)

5ページの左下にセキュリティ・電磁事故対策という2行しかないが、データアクセスなどの視点があると良いと思う。

(東構成員)

それに加えて村井先生がお話されていたとおり、どのように信頼の枠組みを作るかという話も入れておけば良いかと思う。

(栄藤構成員)

伊藤さんへの質問で、ワイヤレスによるGDPの押し上げ効果には幅があると思うが、先ほど説明のあった数%程度なのか。

(伊藤氏)

資料で言うと11ページ目にあるが、2030年時点で7%ということで、やらないよりやった方が良くなるのがワイヤレス進展の効果だと試算している。

(藤原構成員)

5ページの標準化について、横長の20年スパンの標準化、国際的な周波数確保と書いてあるところは、国際標準やデジュール標準だけではなく、標準化の多様化に対応といった話も重要となる。標準化のボディが以前のようにITだけではなくてきている。

(3) 閉会

以上